

登下校時避難訓練を実施しました

発生が予想される大規模な地震（震度6弱程度）に備え、登下校中でも児童生徒が自らの判断で安全に避難行動をとる力を育成すること、教職員が児童生徒の安全確認・安否状況を把握することを目的に、町内4小中学校合同で登下校時避難訓練を実施しました。家庭や地域に協力していただいで実施することができ、改めて「自助」の大切さ、被災時における「共助」の必要性を実感する機会となりました。

1 訓練の流れ

下校時避難訓練：令和6年6月26日（水） 地震発生想定15時30分

- 小学校では一斉集団下校、中学校では各自下校とし、町の防災無線が聞こえたら、その場で安全確保（※「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」場所であるかを確認後、8秒以内にその場で頭にランドセル等を乗せて座る）。崖の下や橋の上等「その場所が危険」と判断した場合は、安全な場所へ移動する。
- 揺れがおさまったところで、各地区の公民館や「こどもを守る安心の家」まで安全を確保しながら自分の力で避難する。
- 学校職員が安否確認を行い学校へ連絡する。区長さん等から避難訓練についてお言葉をいただき、避難終了。迎えに来た家庭へ児童を引き渡す。生徒は各自帰宅。

登校時避難訓練：令和6年9月4日（水） 地震発生想定7時40分

- 普段と同じ通学方法で登校する。町の防災無線が聞こえたら、その場で安全確保（※）。
- 揺れがおさまったところで、最も安全な場所へ避難する。その後、学校に登校する。
- 車での送迎の場合は、安全な場所に停めて、保護者や運転手と安全確認について話し合う。

2 当日の様子

[富士見小]



通学路で避難行動

[本郷小]



頭を保護する児童

[境小]



区長さんから話しを聞く

[富士見中]



校内の生徒の集合

3 ○成果と●課題

○児童生徒は真剣に取り組み、登下校時の避難方法を身に付けることができた。「自分の身は自分で守る」意識ができていた。区長さん、安心の家の方、保護者の方を始め、地域の多くの方々と連携・協働して実施することができ、学校と地域が防災を通してつながる機会となった。

●今後は、説明を通して地域の方々にさらに理解していただき、町ぐるみで登下校時避難訓練について連携・協働する体制を組んでいきたい。一次避難所である公民館での避難所運営について、児童生徒が地域の一員として活躍（共助）できる可能性を探っていきたい。

※令和7年度もこの訓練を継続していきます。地域の皆さまのご理解ご協力よろしく申し上げます。